

モデル プロジェクト

白根市HOPE計画まとまる 川と凧と実りのまち 広い空の夢づくり

二十一世紀まであと少し。次代へ伝えていけるような住みよい豊かなまちづくりを進めようと、市では、昨年からHOPE計画（地域住宅計画）の策定に取り組んできました。この概要が、このほどまとまりました。計画では、恵まれた地域資源を生かしながら、市民の参加によるまちづくりを目指していきます。



HOPE計画とは、自然や伝統文化、産業などの地域の特性を生かしながらより良い住環境をつくり、まちづくりにつなげようという計画のこと。建設省が昭和五十八年から計画を制度化し、全国各地の地方自治体で取り組みが行われています。HOPEは「Housing with Prosperous Environment」の略で地域固有の住まいづくりという意味のほか、住宅政策の「希望」という意味も込められています。白根市でも、昨年八月に各種市民団体の代表と学識経験者、

HOPE計画とは？

行政職員からなる計画策定委員会を組織しました。そこでは、各種市民団体の代表を中心にしたワーキング部会が、自然条件や社会条件など白根市をさまざまな角度から分析。また、市民の皆さんにアンケート調査を実施したりフォーラムを開催したりしてまちづくりに関する意見を聞き、これらを踏まえて具体的な計画づくりを進めてきました。その結果が今年三月でまとまりましたのでお知らせします。委員会では、白根市にある地域資源「豊かな水、農産物、伝統ある大風合戦など」に着目し、まちづくりに生かしていこうと次の三つを計画の基本方針として打ち出しています。

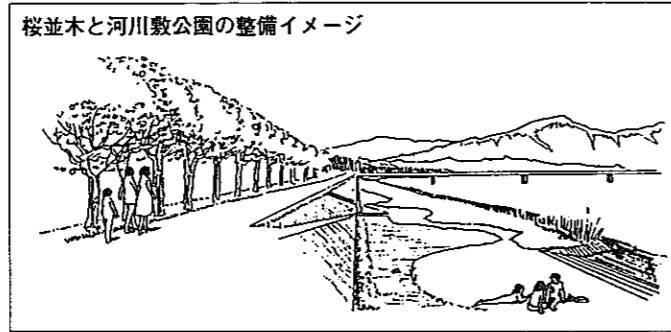
- ①白根市の明確な生活環境イメージづくり
 - ②きめ細かな生活環境の整備の必要性
 - ③市民のまちづくりに対する意識向上と市民参加の仕組みづくりの必要性
- この基本方針を分かりやすくするために、代表的な地域資源である「水」と「実り」を前面に掲げて計画のテーマを「川と凧と実りのまち」広い空の夢づくり」としました。さらに、計画実現のために左ページのよう具体的なモデルプロジェクトを提案しています。

白根市の生活環境イメージづくり

のびやかな広い空をバックにした「河川」と「田園」の魅力をも再認識し、白根の魅力ある生活環境イメージをより明確にしていきます。

水辺と田園の回廊プロジェクト

市民が憩える親水公園として河川沿いの遊歩道や公園を整備するプロジェクトです。水と暮らすの歴史が残る場所、景観に優れた場所から取り組み、将来は市を囲む川の周り全体をつなぐよう整備していきます。



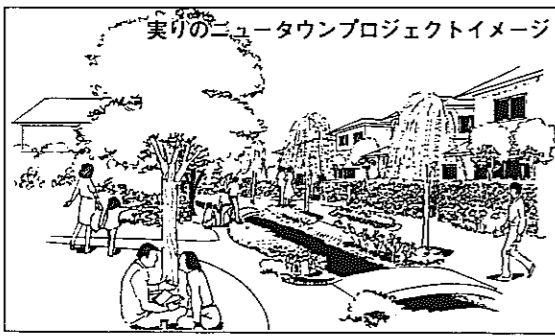
桜並木と河川敷公園の整備イメージ

地区の魅力づくり

白根市をニュータウン（北部新興住宅地）、中心市街地、田園地区の三つのゾーンに分け、それぞれの良さを生かしたきめ細かな生活環境整備を目指します。

実りのニュータウンプロジェクト

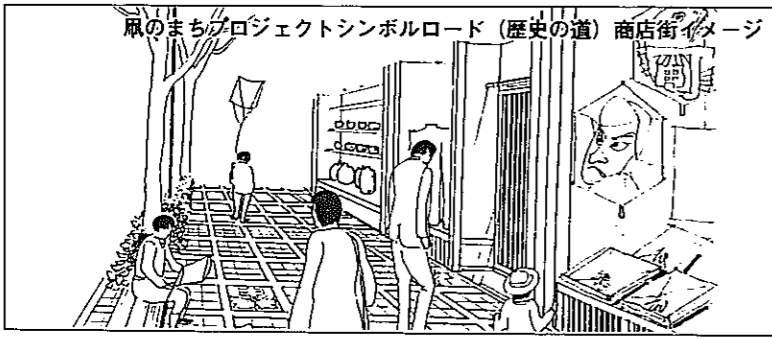
白根の田園風景にマッチする、環境に恵まれた白根らしい新しい住宅街づくりを目指します。水の潤いを感じ、果樹などの緑にあふれた住宅団地の形成モデルやマニュアルを作成します。また、住民が環境を守っていくための「緑化協定」なども検討します。



実りのニュータウンプロジェクトイメージ

凧のまちプロジェクト（中心市街地地区）

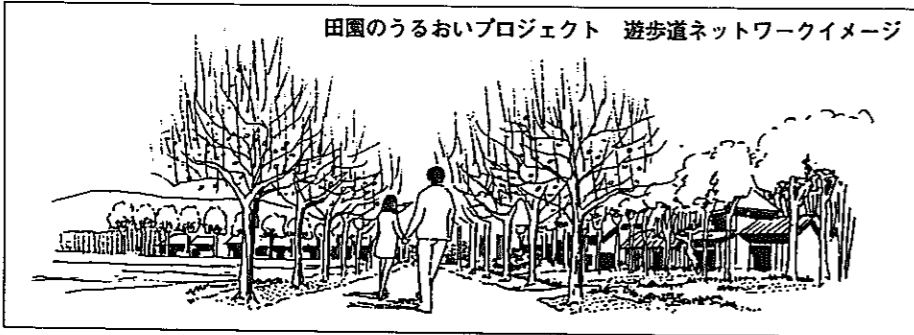
商店街活性化や中心市街地の生活環境をより良くするため、「凧のまち・しろね」のイメージづくりと町並みを積極的に進めるプロジェクトです。メインロードの整備や公園づくりを行います。伝統的な「町家」の改築例も考えます。



凧のまちプロジェクトシンボルロード（歴史の道）商店街イメージ

田園のうるおいプロジェクト

田園地域の環境整備による「フルーツのまち・しろね」のイメージづくりと田園に暮らす魅力づくりを進めるプロジェクトです。市民が楽しめる遊歩道づくりや住宅周辺の景観を整備していきます。



田園のうるおいプロジェクト 遊歩道ネットワークイメージ

人の仕組みづくり まちづくりの心プロジェクト

市民が積極的にまちづくりに関心を持てる体制づくりを進めます。市民が積極的にまちづくりに参加するよう、PRのための機関誌の発行やHOPEデザイン賞などを設けて市民にPRしていきます。

一般市民をはじめ、住宅関係者、行政関係者などを中心に、学識経験者も加えてまちづくりのための活動を行う組織をつ

くつていきます。

くつていきます。